

経済建設常任委員長報告

委員長 五嶋 義行

経済建設常任委員会に付託されました案件の主なものについて報告します。

議案第35号「阿蘇市 森林環境譲与税基金 条例の制定について」

まず、農政課長より補足説明があり、続いて会計課長から、「基金の管理部分について、第3条第1項の基金に属する現金につきましては、地方自治法で最

も確かかつ有利な方法により、これを保管しなければならぬとされておられ、その規定を定めています。同条第2項は、地方自治法の規定に基づき、基金の運用方法の多様化を考慮して規定したものです。本市においては、これまで有価証券での運用は行っていない

が、資金運用の1つの手段として、元本が保証され、銀行への預金預けよりも確実に運用益が得られるような場合には、有価証券に変えることができるとして明記したものです。また、基金に関しましては、副市長を委員長とした『阿蘇市公金管理検討委員会』を必要に応じて開催し、協議を行う機会も別途定められています。なお、基金の運用状況等につきま

また、基金活用の内容はどの程度考えているのか。」との質疑があり、農政課長から、「本年度は1,747万4,000円を予定しており、令和3年度まで毎年、同程度程度の額が市に交付される予定です。令和4年度以降は譲与税の増額に伴い若干上がる見込みです。予算配分については、初年度ということもあり、まず山林所有者に対して森林整備に関する意向調査、現地確認などが必要となる経費に一部充当し活用する予定です。」との答弁がありました。

また、別の委員より、「意向調査については、市が直接行うのか、森林組合などに委託するのか。既に他の町村では森林組合からの意向調査の通知があつているようだが。」との質疑があり、課長から、「本市では、意向調査の前に、本制度を理解

していただくため、森林所有者の方に事業内容を紹介した通知を行います。その後に、事業に取り組みやすい地域から、順次、意向調査を予定することにしており、この際、発生する業務を森林組合等へ委託を検討しているところですが。」との答弁がありました。



大蘇ダム

「この基金はどの程度の額を積み立てできるものかと考えているのか。

その後、委員より、「この基金はどの程度の額を積み立てできるものかと考えているのか。」との質疑があり、課長から、「本市では、意向調査の前に、本制度を理解

する予定です。」との答弁がありました。

また、別の委員より、「意向調査については、市が直接行うのか、森林組合などに委託するのか。既に他の町村では森林組合からの意向調査の通知があつているようだが。」との質疑があり、課長から、「本市では、意向調査の前に、本制度を理解

議案第36号「国営大野川上流地区土地改良事業の農業用排水施設の管理に関する条例の制定について」

農政課長からパネルによる補足説明があり、委員より、「今回の法的管理以外に、2市1村で構成する各土地改良区と、この管理部分との棲み分けはどのよ

なお、国営施設については、維持管理協議会が採択を受けて操作管理を一体的に受託するという形になっていきます。」との答弁がありました。

農政課所管分

議案第41号「令和元年度阿蘇市一般会計補正予算について」

別の委員より、「阿蘇市の受益農家は何戸で、阿蘇東部土地改良区（仮称）の設立はどのような状況なのか。」との質疑があり、**農村整備係長**から、「現在の水利利用の面積といたしまして、荻岳工区、それから茶臼塚工区、合わせて合計24戸で、現在30ヘクタールに対しての水利利用が行われています。まずはこの24戸の農家で土地改良区を設立いたしました、順次、水利利用面積を拡大させていくものと考えています。」との答弁がありました。

委員より、「担い手づくり支援交付金事業補助金のポイント制について、何を基準に採点し、何ポイントを保しなければならないのか。」との質疑があり、**農政課長**から、「採択されるための必要ポイントは13ポイント以上です。採択基準としては、経営体が行う6次産業化の導入や規模拡大、新規就農者などの項目にポイントの配分がそれぞれ設定されており、それらを基に作成された申請内容を市が精査し、県へ採択申請するということになっていきます。」との答弁がありました。

以上のような審査を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

また、別の委員より、「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

補助金について、地元説明会の詳しい内容を。」との質疑があり、**課長**から、「説明会は本年2月27日に対象地域の公民館で開催されています。約20名近くの近隣住民の方に参加いただいたという報告を受けています。」との答弁があり、また、**委員**より、「出席された方だけに説明を行い、事業許可を得ているということでしょうか。」との質疑があり、**課長**から、「市の職員も説明会に参加し、事業者が地域の方に行った環境対策への配慮の方策等について、十分に説明内容を確認した上で、しっかりとした計画であると判断したものです。」との答弁がありました。

観光課所管分

委員より、「シェアサイクリング実証実験負担金について、実験終了後も40台の電動自

転車を活用できるとのことだが、どこに配置するのか。」との質疑があり、**観光課長**から、「今後、実証実験の結果などを見て、実行委員会会で決める予定です。」との答弁がありました。

また、**委員**より、「阿蘇竹田ブランド観光地域づくり推進協議会について、自治体はどのような位置付けなのか。」との質疑があり、**観光課長補佐**から、「自治体は事業主体になります。JR九州とは昨年12月に協定を締結しています。今後は列車による送客を強化し、併せて地域の活性化を図ろうというものです。事業内容の具体的なものとして、滞在プログラムの開発、公共交通ネットワークの構築、受入体制の整備などを進めます。」との答弁がありました。

また、**委員**より、「マウンテンバイクフィール

ド助成金について、利用している方がどれだけいるのか疑問を感じている。実際にマウンテンバイクに興味を持っている人は阿蘇市内でどのくらいいるのか。」との質疑があり、**観光課長**から、「当初、現地に自転車を置くか置かないか。利用率を上げるには自転車を置くという検討がなされましたが、結果的に場所を提供するということが、スタートしました。現在、民間の方に管理を



また、**委員**より、「ナイトー教室を実施しているとの答弁があったが、電気料の支払いはどのようになっているのか。」との質疑があり、**課長**から、「推進期間というところで、市のほうで負担しています。」との答弁がありました。

再度、シェアサイクリングの実証事業について、

「総事業費3,000万円ということだが、事務局、事業主体的なものはどこで行うのか。」との質疑があり、**課長補佐**から、「事務局、実証事業の主体は、一般社団法人民間活力開発機構になります。機構、阿蘇市、そしてコギダス協議会とで実行委員会を設置し、本実証事業を行います。」との答弁があり、また、**委員**より、「実証実験は、内牧中心で考えていると思うが、観光客誘致のために行うものなのか、それとも市民に対してサイクリングの普及を図るものなのか、その辺りを明確にした方がよいと思われる。市も300万円負担して実施するのであれば、効果的なやり方を期待する。」との意見があり、また、別の**委員**より、「マウンテンバイクフィールドの利用率や活動状況には疑問を持っている。また、阿蘇竹田ブランド観光地域づくり推進協議会

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

まちづくり課所管分

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。



阿蘇 MTB パーク (内牧)

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

議案第42号「令和元年度阿蘇市下水道事業特別会計補正予算について」

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。